

G-CAT 塗布方法 (Nano-G SprayGun)

Nano -SprayGun
for photocatalyst



- ・塗布時に躯体温度が 50℃以上になる場合は施工を避けて下さい。
- ・湿度の高い場合は施工を控えてください。(白濁の原因となります)
- ・連続塗布する場合コンプレッサーは、1馬力 (0.75MPa) 以上、
空気吐出量 115 l /min 以上のもので容量に余裕のあるものをご使用ください。
- ・コンプレッサーはオイルレスのものをご使用ください。

★基本施工法 (2度塗りの場合)

1. 施工前に、ガンのつまりがなく均等に材料が出ていることを確認してください。
(先端ノズルの穴・エアー通気口・ニードルなど) ※写真1
2. 材料噴出量は、噴出量調節ツマミで調整してください。※写真2
噴出量調節ツマミを左一杯に回して閉じ、完全に閉じた状態から2回転して下さい。
3. スプレーガンのスピードは、1mを1～1.5秒の速さを目安に塗布してください。
20~25g/㎡ (1回) 塗布して下さい。
4. エアー圧の調整は、付属されている手元圧力調節器のダイヤルを左に回して目盛を 0.15MPa に合わせてください ※写真3
5. スプレーガンは、躯体から 15cm 距離を離して噴出すると 20cm の幅に広がって塗布するように設計されています。※図1
塗布部を移動する場合は、20cm の幅の約半分程度 (10cm) ずつ、ずらして塗布してください。※図2
6. 乾燥時間は約 30分です。(気温・湿度によって異なります) 2度塗り目を施工する際には、表面が完全に乾燥していることを確認してください。
7. 1度塗り目で横方向に塗布した場合、2度塗り目は、縦方向に塗布してください。
(順番は問いません) ※図3
横方向に塗る場合は縦長のパターンに (空気キャップ角横方向)、縦方向に塗る場合は横長のパターン (空気キャップ角縦方向) にしてください。



写真1



写真2



写真3

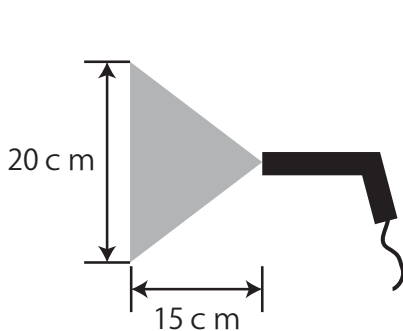


図1

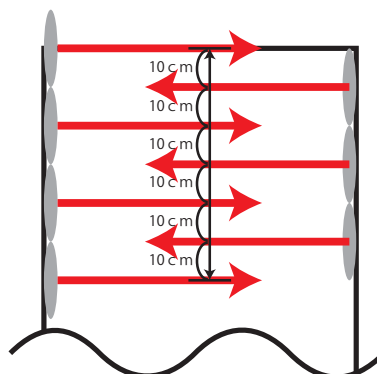


図2

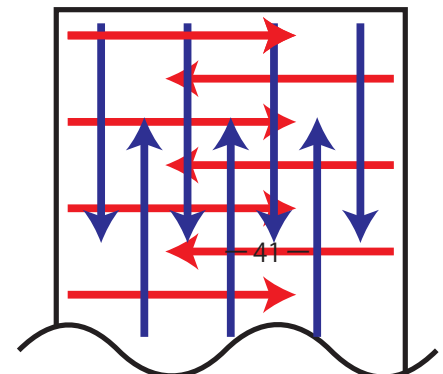
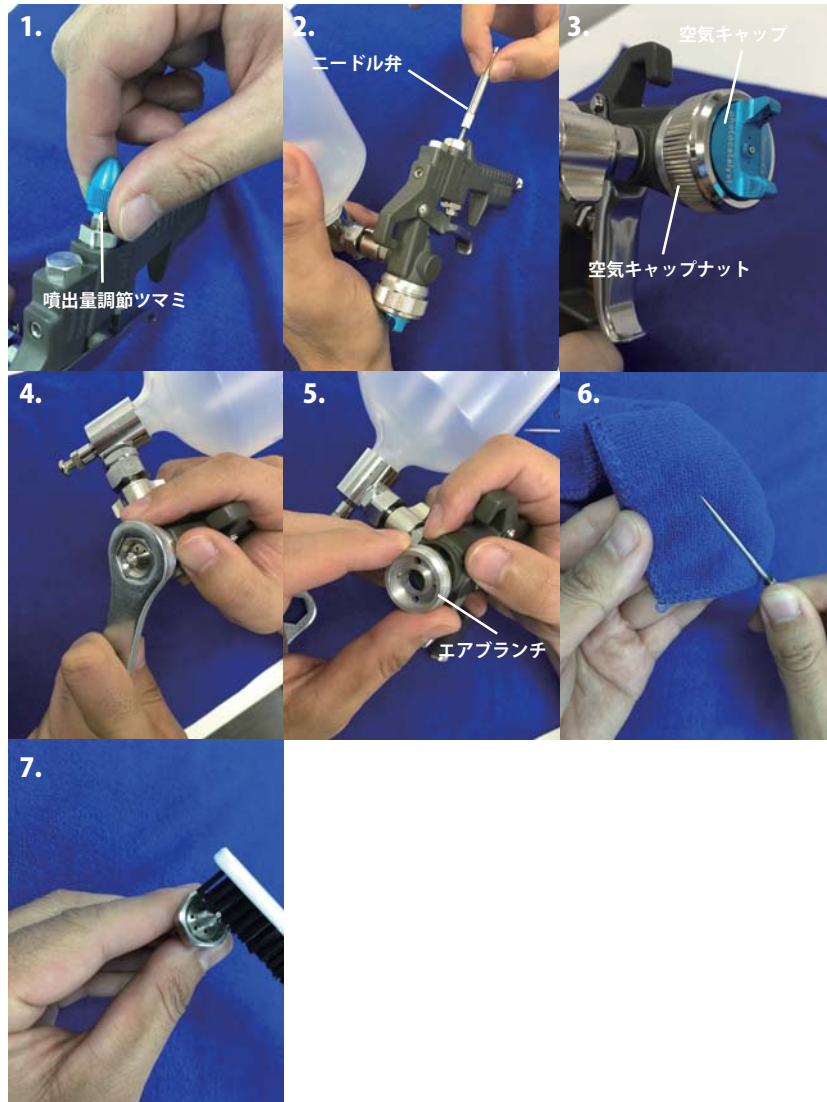


図3

ガンの取り外し方、メンテナンス



- 1、噴出量調節ツマミを緩める。
 - 2、ニードル弁を外す。
 - 3、空気キャップナットを緩めて空気キャップを外す。
 - 4、付属の塗料のノズル専用メガネレンチを使って塗料ノズルを外す。
 - 5、エアブラシを外す。
 - 6、ニードル弁を柔らかい布で汚れを拭き取る。
 - 7、空気キャップと塗料ノズルは、付属しているブラシを使って汚れを落とす。
- メンテナンス終了後、取り外した順番と逆の順番で部品を取り付ける。

※取り外し順を間違えると、部品が傷つき、空気漏れなどで、きれいなパターンが出ない事がありますので、必ず決められた順番で部品の取り外しを行ってください。

保守・点検上の注意

- ・ 次回の作業のために、吹付けの作業が終了したら速やかに洗浄してください。また洗浄時には、きれいな水を使用してください。
 - ・ 空気キャップ・塗料ノズル・ニードル弁セットは、スプレーガンの心臓部です。傷つけないように注意して洗浄してください。
 - ・ 指定のメガネレンチもしくは、口径が同じメガネレンチを使って外さない場合塗料ノズルが破損し、塗布量やパターンがくずれます。塗料ノズルを外す際には必ず指定のメガネレンチ、口径が同じメガネレンチを使ってはってください。
※取り付け取り外しの際には、モンキーレンチを使わないでください。
 - ・ 洗浄は、吹き付け作業と同様に換気と火気に十分注意して行ってください。
 - ・ 空気回路内に溶剤が入らないように注意して洗浄してください。
 - ・ スプレーガン全体をシンナー等の溶剤に浸さないでください。
 - ・ またガンウォッシャーをご使用の場合には、手元圧力調節器を外し、空気ニップルにカバーをつけてご使用ください。
- ※スプレーガンの説明書にもメンテナンス方法が明記してあるので、そちらも参照してください。